

# 火星・木星・土星 はどんな星？見ごろはいつ？

この春は“明け方”に見えている火星・木星・土星も数か月後には、午後8時ごろ見やすくなります。特に今年は「夏休みの木星・土星」と「10月の火星接近」が注目です。

## 8月中旬 午後8時南の空

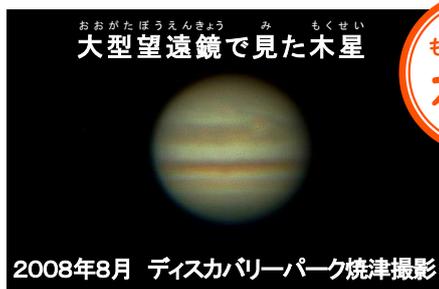
**土星** → ← **木星**

地球を11個も並べたのが、木星の大きさだよ！

土星の環の変化

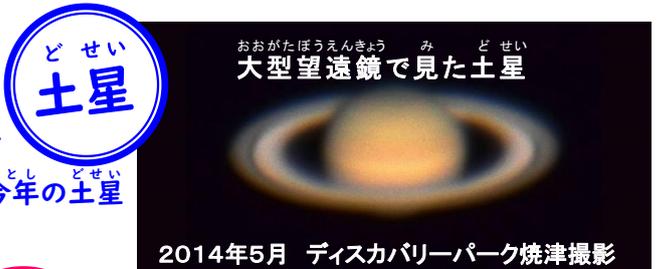
南 南東 南 南西

今年は、20年ぶりに木星と土星が接近するととても珍しい光景を見ることができます。見ごろは8月～9月。望遠鏡で木星の縞模様や土星の環を見てみよう！



**木星** 太陽系でいちばん大きな惑星の木星は、広い表面で太陽の光を反射し、とても明るく輝きます。望遠鏡で見たときの大きさは、隣の惑星・火星よりはるかに大きく、表面の縞模様もわかります。また、木星の周りを回る「木星の月・衛星」も見ることができます。

土星と言えば、環（リング）。この環は一枚の板ではなく、小さな氷や岩石が集まってできています。土星の環の傾きは約15年ごとに大きくなったり小さくなったりします。今年の土星は右の写真より環の傾きが少し小さくなり細く見えます。



## 10月上旬 午後8時東の空

**火星** →

極冠 →

2018年7月 ディスカバリーパーク焼津撮影

東北東 東 東南東 南東

**火星** 火星は、約2年2か月ごとに地球と接近し、約15年に一度大接近します。今年の10月6日には、2年前の大接近より少しだけ遠い「準接近」が起こります。火星は、地球と同じ地面がある岩石型の惑星です。大きさ（直径）は地球の半分ほどです。



アメリカの火星探査車「キュリオシティ」が撮影した火星のパノラマ風景。1000枚の写真を合成している。星図はすべてステラナビゲータ(アストローツ)で作成